

## CHANGING THE WAY(方向転換)



私たちはイエスの再臨のための準備を続けます。今日の福音書で、洗礼者ヨハネは私たち全員に、キリストが来られるための道を準備するよう呼びかけています。ヨハネは明らかに神の人であり、人々は彼を賞賛し、信頼していました。彼は人々に教え、彼らが罪を認めるように、彼らに「悔い改め」を呼びかけました。

ここでの「悔い改め」とは、単に過去を反省するという意味ではありません。それ以上に、自分のやり方を変えるように求められています。福音の中で「悔い改める」という時、自分の生き方に根本的な変化をもたらします。それは回心、本当の方向転換、人生全体の方向転換を意味します。

ここで学べるのは、クリスマスの準備に関する2つのことです。まず、私たち自身がイエスの再臨に備える必要があります。今日の第二朗読でペテロは、主の「1日」は1,000年になる可能性があると言っています。が、同時に、私たち皆が知っているように、来られるのは非常に突然であると警告しています。私たちは、予告なしに突然私たちの元から連れ去られた人々のことを知っています。

それでは新しい年にむけて、私たち自身の生活にどのような変化を起こすべきか考えてみましょう。どんな人になりたいのでしょうか？ どんな人になろうとしているのでしょうか？ 神様は私に、どんな人になってほしいとのぞんでいると思いますか？

第二に、洗礼者ヨハネは、イエスが私たちの生活の中に来られる道筋を用意しました。第一朗読に、「谷はすべて身をお越し、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ」とあります。言い換えれば、私たちのイエスとの出会いの邪魔になるすべての障害を取り除くことです。それはまた、クリスチャンとしての私たちの役割でもあります。他の人がイエスを知るようになるのは、私たちの言うこと、行うことによるのみです。非常に多くの人々が、本当のイエスを知る上で多くの障害に直面しています。そして、正直なところ、私たち自身がそれらの障害になることもあります。なぜ、こんなに多くの若者が教会に行くのをやめているのでしょうか。なぜ、信仰の実践をあきらめるのでしょうか。彼らはどこから、キリスト教の考えを手に入れたのでしょうか？ 責任は誰にありますか？ 遠くを見る必要はないと思います。私たちの責任ではないのでしょうか。

ですから、私たちは皆、イザヤが最初の朗読で言っているように、福音を伝えましょう。「声をあげよ、恐れるな。ユダの町々に『ここに、あなたたちの神がおられる』と告げよ」。はい、それは私たち一人一人がすべきことです。おそらく私たち自身の家族のメンバーから始められます！「羊飼いが群れを養うような、子羊をふところに抱くような」イエスについて、人々に話してください。私たち一人一人が、家族、親戚、同僚、そして私たちの生活に関わる可能性のある他の人々など、他の誰からもイエスのことを聞かない人々に、手を差し伸べ、イエスを伝えることができます。